



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

掲示板法話

元旦や今日のいのちに遇う不思議

(木村無相)



令和三年の新年を寿ぎつつ、「明けましておめでとうございませう」と新年のご挨拶を申し上げます。でも中には、「厄介な新型コロナウイルスの感染が懸念される新年の何がめでたいのか？」と斜に構えるお方も少なからずいらっしゃるかもしれません。確かに、身内や知り合いに感染者が出たり、コロナ禍のために様々な経済的影響を受け苦しんでおられる方々にとっては、悩ましく、辛いお正月に違いありません。

だが、お正月の「正」という字は、「止まる」という字の上に「一」がついていますから、「立ち止まって、一から直し、正していく」という意味があります。「自分は感染しないように行動を慎んでいるのに、感染するのは不注意なのだ。自業自得だ」と、感染者を非難したり、差別の眼で見る言動は実に恥ずかしいことです。

新型コロナウイルスの恐怖感の虜になって、自分だけの殻に閉じこもっている我々の正体は仏さまの智慧の

光に遇ってこそ「恥ずかしいことよ」と気づかされます。それは、我も他人も皆仏さまの智慧の光の中に在り、と気づかされて、悩ましいソーシャルディスタンスを心がけねばならぬ環境の中にあっても前向きに生かされて生きる道に通じます。

「元旦や今日のいのちに遇う不思議」、これは長い求道聞法の末に本願念仏の教えに遇い、生死の迷いを乗り越えて往かれた木村無相さんの新年の一句です。無事新しい年を迎えられたのは、我が力ではなく、不思議に賜りたるいのちであったという感動の脈拍が伝わってきます。

コロナ禍がいつまで続くか見通せない状況のもと、みんな懸命に命がけで医療や介護に従事してらっしゃるお方もあることを思えば、いよいよ「いのちの不思議」に思いを致す新年です。どうか皆さん、「任せよ、必ず救う」のお喚び声をわが身の上に聞き開き、新たなるこの一年を縁ある者同士、心寄せあい、つながりを忘れず、

★ 写真アラカルト ★

☆行事ご案内☆

◇元旦会&御正忌お朝事

※元旦会(がたんえ)1月1日朝9時、正信偈

新年のスタートは家族揃ってお寺参りから

※お朝事1月13・14・15・16日の朝7時

連続4日間のプチ修行、正信偈、法話他

◇除夜の鐘12月31日夜11時45分より

誰でも撞けます。家族お揃いでどうぞ!

◇一縁会テレホン法話 ☎059・354・1454

3分間法話、12/28~1/3まで住職が担当

◇絵手紙教室(第2火)1月12日午前10時(57回目)

初心者歓迎、入会自由、小杉郵便局に展示

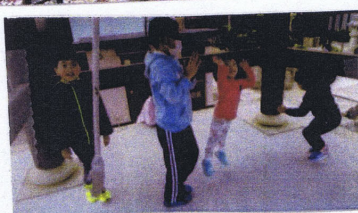
◇キッズサンガ1月9日(土)午後4時、夕方5時の鐘撞きは年中無休、除夜の鐘、元旦会もどうぞ

◇歌声喫茶(第3木)1月21日午後1時(17回目)

◇善正寺ホームページ「三重善正寺」で検索1年分の寺報閲覧、毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」大好評、開設12年5か月で33万4千訪問お悩み相談可

◇新納骨堂後継者の無い方お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方本堂使用可、寺にご相談下さい



互いの命大切にと念じつつ、生かされ参りましょう。

お内仏報恩講、間隔開けて四十名以上のお参りでした。

坊守スケッチ

孤立せず「お互い様」で支え合い

家族と同居していたにも拘わらず、

自宅で死亡してもすぐに発見されな

い「同居の孤独死」が、近年増加して

います。介護している老夫が急死して、

認知症の老妻が餓死。また体が不自由

な70代の妹を介護する姉が先に逝き、

妹も間もなく餓死して、2、3カ月経

つてから発見された高齢姉妹。いずれ

も元気な頃は近所付き合ひもなく、親

戚とも疎遠だった為に、遺体の引き取

り手すら見つかりません。行政の支援

を受けるように促しましたが、プライ

バシーの侵害とか、プライドが邪魔を

して、素直に助けを求められません。

コロナ以降も、益々こういう傾向が強

まるのではないのでしょうか？

昔のように隣近所が声かけあって、

「困った時はお互い様だから、何でも

言ってみよう」と助け合う習慣はもはや古

い人間のすることでしょうか？

お念仏に育てられた私達の地域は、

困った時は見捨ててはおけないとい

う気持ち先立って、すぐに手を貸し

たくなります。これが仏様の教えを聞

いた者の証なのです。

ところが最近はその関係が「鬱陶し

い」やら「面倒くさい」と思う人が増

えて、自分の時代にいと簡単に「縁

の糸を切ってしまう。

「さっぱりしていい。どうせ子供達は

この土地に住まないのだから」と時代

の所為にしてしまいます。

次世代の人々は、無関心、無感動、

無責任、見て見ぬ振りをして生きてい

く寂しい時代になりませんか？

ある調査によると、高齢者の運動と

文化活動と介護の関係の興味深い結

果が出ました。①運動のみしている人

②運動はしないが趣味やボランティア

アをする人、③運動もボランティアも

趣味もする人、以上三つのグループに分

けた結果、①は③の6・42倍、②は③

の2・19倍の要介護が必要な状態です。

要するに高齢者は運動だけでは不

十分。家に閉じこもらずに外出し、人

と交流することが大事です。孤立せず

に「お互い様」で支え合ひましょう。



俳壇

秋の日や歌声流る仏間にも 釋妙水

大石を転がすごとく勝力士

秋風に遊ばれ揺れる皇帝ダリア

連休をグダグダ過す秋麗

親切も少しが大事秋陽落つ

ベール脱ぎ紅葉の山現れる 釋榮邦

そこだけが明るく暮れる柿畑

日だまりの障子に影絵遊びけり

紅葉降る宿の坂道険しけり 釋清風

水鳥の親子戯る水辺かな

冬炬燵もぐって遊ぶほてり顔 釋亮爾

冬晴れに注射で泣く子声響く

日向ぼこミルクコーヒー飲みながら

若坊守の育自な毎日73

「やつと僕の順番が回ってくる！」

と言うニコニコ顔の長男(小三)に、

「何のこと？」と尋ねてみました。

国語の授業で自分の名前が50音順で

最後なので、やつと番が回ってきます。

人前で話すのが大好きな長男は、嬉し

くて早くからワクワクしています。

「話したいな、私の好きな時間」とい

う単元で、生活の中の自分の好きな時

間について、皆に話す授業fでした。

①話す材料を集める。②話すことを

選んで組み立てる。③話す練習を

する。④みんなの前で話す。

こっそり長男のノートを覗いてみ

ると、2ページにわたってびっしりと

発表内容が書いてありました。

「名探偵シャーロック・ホームズの

本を読む時間」が、長男の好きな時間

だそうです。「小さい頃からクイズや

推理が好き」で、バアチャンが買って

くれた「おしりたんでい」に始まり、

どんどん探偵本を読み、次は「ホーム

ズに無我夢中」ということです。

私もせっせと長男のために図書館

で本を借りてきては、自分の子供時代

を懐かしく思い出します。江戸川乱歩

の『少年探偵団』も怖くて面白いけれ

ど、いつか読んで欲しいなあと願いな

がら、読んだ後には一緒に感想を語り

合いたいと楽しみにしています。



お悔み申し上げます

★廣方ぬい子様(98歳・11月16日往

生・四日市市)

ホットニュース

※恒例のお内仏報恩講を12月5日午

前、皆様のおかげで無事お勤めするこ

とが出来ました。コロナが感染拡大す

る中、寺の行事を迎える度に不安がい

っぱいでした。しかし庫裏4間と玄關

食堂等の仕切りを全て取り広げて、換

気、手指消毒、検温、マスク、椅子の

間隔を開けて万全の注意を払い、お勤

めは短縮版、食事はお持ち帰り弁当と

しました。遠近各地よりご参詣の40

名以上の皆様から「コロナに負ける

な！」というエールを頂戴しました。

カンパありがとう

豊住久美夫様、松岡康様、服部嘉賜様、

澤田美智江様、柴田美津代様、阿曾香

代子様、富田和代様、伴野節子様、

他匿名様より頂戴。感謝

★編集子より★

「善正寺だより」三二五号をお届けし

ます。◇令和三年の新年号ですが、新

年のご挨拶も素直に致しかねる心境。

ウイルスを恨んでも仕方ないけれど、

激しい第三波の襲来で、大変な災禍の

新年です。◇本願寺の御正忌報恩講も

広い御影堂に僅か三百席余りの参拝

席、インターネット中継でお参りしま

しょう。◇このコロナとの持久戦。精

一杯の工夫で仏法相続の勤めを果た

して行きたい。何卒、「ご自愛の上コロ

ナに負けず前向きに生きましよう。

明けましておめでとうございます。おそろく新年号の寺報
がお手元に届くのは年末。コロナ感染拡大の最中で不安な生
活を強いられている人が多いでしょう。「何かめでたい」年も越
せない程苦しんでいるのにそんな暢気なこと言うな」と
お叱りを受けそうです。でも泣いても笑っても正月は来ます。
ここは心機一転、コロナの年を振り返り、新年の抱負を述べ
たいと思います。昨年は私の白内障両目手術の年でした。
今まで元氣印で入院したことがなく裸眼で何でも見えていた
私が、急遽老眼鏡が必要になりました。白内障は高齢者の
8割が患う病氣。「自分だけは例外」という驕りが発見を
遅らせました。また毎朝散歩しているから血圧は大丈夫という
思い込みも大きな間違ひ。手術の時200近い高血圧に驚き、
血圧降下剤を服用するようになりました。他にも最近渡れ
易い体になって、何か仕事をやる度に一休みの連続。ある先輩
が「70歳の坂を越えると体のあちこちにかたが来る。80歳の坂
はもつときついがこの程度で弱音を吐いていたら90歳以上
の長寿者に笑われる」と励まして下さいました。年末に
同級生の訃報葉書が次々に舞い込んで、別れも告げず
突然旅立った友を思うと淋しくてたまらず次は私の番
かなあと氣弱になります。日頃お説教でお聞かせ頂
いているのに、他人事と受け止めていた自分自身の愚心
かさを反省しました。今年こそ朝の目覚めに感謝し、一日
を丁寧生きていきたいと思ひます。今年も善正寺だよりの
ご愛読よろしくお願ひ申し上げます。 合掌

令和三年一月

善正寺坊守拝